

# 特集

## ギャラリー展示 鉱物・化石展

# 続 湖国の大地に夢を掘る

滋賀県の鉱物や化石が大集合します。琵琶湖博物館は開館して10年ですが、博物館ができる以前からこの地域で鉱物や化石に興味をもって、採取したり調査してきた人たちがいます。今回の展示は、そういった方々が採取してきた標本を中心に、それぞれが感じているおもしろさを熱く語る展示の第2弾です。

### みんなでつくる 鉱物・化石展

鉱物や化石は、岩石をつくる部分であったり、地面に埋まっているもので、それらは大地の成り立ちや地域の特殊性を教えてください。しかし、そういった学術的な側面だけではなく、その形の美しさや妙から人々の興味を引きつけてきました。滋賀県では、古くは江戸時代の木内石亭(きうちいせい)が有名な方として知られています。そういった土地柄のせいかわかりませんが、この地域には鉱物や化石の面白さに魅せられた方々がたくさんいます。

鉱物や化石に興味を持つ人たちがたくさんいるということは、それだけこの地域にある鉱物や化石について詳しく調べられたり、採取されているということなので、素晴らしい標本も見つかっています。ただ、そういった標本はそれを見つけた人たちが保管していることが多いので、その人やその仲間の方々がその

### 湖国もぐらの会

存在を知っていたりします。そういった素晴らしい標本と共に、鉱物や化石のおもしろさを伝えようとするのが今回の「続・湖国の大地に夢を掘る」という展示で、湖国もぐらの会のメンバーが主体となって行います。

湖国もぐらの会は、その名前だけでは鉱物や化石に興味を持つ人の集まりだとわからないかもしれませんが、また、湖国と名前がついていますが、実際のメンバーは滋賀県だけではなく、三重県の方など滋賀県とその周辺地域で活動している人で構成されています。もともとこの会は、常時みんなで活動しているというよりは、今回の展示のような大きなイベントを行う時に力を合わせて行おうとする団体です。普段はどうしているか？という、それぞれの個人や所



前回の展示の様子  
標本を間近で見られるような工夫もありました。



前回の展示の様子  
前回の展示でもたくさんの標本が所狭しと並んでいました。



湖国もぐらの会による化石採取の様子



主任学芸員(層序学)  
里口保文  
写真は調査中のひとこま

### ふれあいコーナー

来館された方との交流をするコーナーを設けて、採取した化石などの標本をさわったりできるようなことも企画しています（行っていない日もあります）。



### 展示の説明

各自の展示コーナーでは、日によって展示の解説を行います。写真は前回のときのもので、たくさんの学生が真剣に話を聞いているところです。

属している団体で、やはり鉱物や化石の採取をしたり調査をしたりしています。その中には、普段から調査や観測会などの行事で博物館といっしょに活動をする人も少なくありません。

今回の展示で中心になって行う人は、古くからこの地域で活動をしてきた人ですが、新たに若いメンバーも加わっています。また、展示をする標本はないけれども、鉱物や化石に興味があつて、展示会などのイベントを運営するスタッフとして加わっている人もいます。そうやって、少しずつ人のつながりが広がっています。

### 湖国の大地に夢を掘る



今回は2001年5月～6月に「湖国の大地に夢を掘る」というタイトルで行った（やはり湖国もぐらの会が主体でした）鉱物・化石展の第2弾という事で、タイトルにも続がついています。このタイトルには鉱物や化石が出てこず、かわりに「夢」が入っています。これは、鉱物や化石という大地にあるものを採取する（つまり掘り出す）ということが、その標本だけではなく「夢」も同時に掘っていることで、そういう「夢」をみなさんに展示を通して伝えたいという思いが込められています。

会のメンバーはそれぞれ様でない興味や熱い思いがあるので、それを伝えるために、展示の方法についてのルールは、それぞれの方がコーナーを持

つて、自由な発想で展示をするというものです。

実際に展示される物は、タイトルの通り鉱物と化石が主なものですが、それだけに限らず、化石になる以前の足跡（現在のもの）や化石が入っている地層も展示されます。また、学術的な意味での石だけでなく、石を楽しむ芸術文化である水石・盆石の展示も行われます。このように紹介すると、地学に関係していればなんでもありなのかな？という印象を受けるかもしれませんが、実際その通りなのでしょう。

ともかく、この展示ではそれぞれの人々が持っている興味や、おもしろいと思っている熱い思いを伝えるということに重点を置いていきます。ですから、単に展示するだけではなく、展示をした人が自分のコーナーで、また、「ふれあいコーナー」というスペースを設けて、説明したり、実物の標本をさわってもらうなど、展示を見に来られた方との交流をしようということも考えています。ただ、そういう思いを持ったまま亡くなられた方もおられるので、今回の展示ではその近い方に協力をいただいで参加いただき、その思いやその思いが他の方に受け継がれていることも伝えたいと思っています。

どうか、実際に展示をご覧いただき、少しでも興味を持って頂ければありがたいです。

### ギャラリー展示

## 鉱物・化石展 続・湖国の大地に夢を掘る

2007年3月20日(火)～5月6日(日)

場所：博物館企画展示室

主催：湖国もぐらの会・琵琶湖博物館

湖国の大地に夢を掘る



湖国もぐらの会

### もぐらマスコット

山本真彩子さん考案の湖国もぐらの会マスコット。おじさんのような雰囲気だがかわいらしい感じですが、実際のメンバーはどうなのでしょうか？